



電話システム連動の管理

電話システム、ポートグループ、ポート、電話システム トランク、サーバを追加および削除することによって、電話システム連動を管理できます。また、既存の電話システム、ポートグループ、ポート、電話システム トランク、サーバの設定を変更することもできます。

次の各項を参照してください。

- [電話システムの管理 \(P.25-2\)](#)
- [ポートグループの管理 \(P.25-9\)](#)
- [ポートの管理 \(P.25-26\)](#)
- [電話システム トランクの管理 \(P.25-31\)](#)

電話システムの管理

Cisco Unity Connection の管理の電話システムのページには、Cisco Unity Connection と連動している電話システムが示されています。Connection の管理では、電話システムは 1 つ以上のポート グループを保持しています。ポート グループは、ボイス メッセージ ポート を保持しています。電話システムを管理することで、システムでのニーズの変化に対応できます。

次の各項を参照してください。

- [新しい電話システム連動の追加 \(P.25-2\)](#)
- [電話システム連動の削除 \(P.25-3\)](#)
- [電話システムの設定の変更 \(P.25-4\)](#)
- [Cisco Unity Connection ルート証明書の表示 \(P.25-4\)](#)
- [Cisco Unity Connection ルート証明書をファイルとして保存 \(P.25-5\)](#)
- [電話システムに関連付けられているユーザのリストの表示 \(P.25-5\)](#)
- [電話システムの MWI の同期化 \(P.25-6\)](#)
- [通話ループ検出設定の変更 \(P.25-6\)](#)
- [AXL サーバの追加 \(P.25-7\)](#)
- [AXL サーバの削除 \(P.25-7\)](#)
- [AXL サーバの設定の変更 \(P.25-8\)](#)

新しい電話システム連動の追加

複数の電話システムを Cisco Unity Connection と連動させることができます。サポートされる組み合わせの一覧については、『*Multiple Integration Guide for Cisco Unity Connection 2.0*』を参照してください。このドキュメントは、

http://www.cisco.com/en/US/products/ps6509/products_installation_and_configuration_guides_list.html から入手可能です。

新しい電話システム連動を追加する

-
- ステップ 1** Cisco Unity Connection の管理で、[**テレフォニー統合 (Telephony Integrations)**] を展開し、[**電話システム (Phone System)**] をクリックします。
- ステップ 2** [電話システムの検索 (Search Phone Systems)] ページの [電話システムの検索結果 (Phone System Search Results)] で、[**新規追加 (Add New)**] をクリックします。[電話システム統合ウィザード (Phone System Integration Wizard)] が表示されます。
- ステップ 3** 画面の指示に従います。入力する設定値については、適切な Cisco Unity Connection インテグレーションガイドを参照してください。このドキュメントは、http://www.cisco.com/en/US/products/ps6509/products_installation_and_configuration_guides_list.html から入手可能です。
- ステップ 4** Connection Conversation Manager サービスの再起動を要求された場合は、次の各ステップを実行します。再起動を要求されない場合は、これでこの手順は完了です。
- ステップ 5** [ナビゲーション (Navigation)] ドロップダウン リストで、[**Cisco Unity Connection Serviceability**] をクリックし、[**移動 (Go)**] をクリックします。

- ステップ 6** [Cisco Unity Connection Serviceability] ページの [Tools] メニューで、[Control Center - Feature Services] をクリックします。
- ステップ 7** [Control Center - Feature Services] ページの [Server] ドロップダウン リストで、Cisco Unity Connection サーバの名前をクリックし、[Go] をクリックします。
- ステップ 8** [Cisco Unity Connection Services] で、[Connection Conversation Manager] をクリックします。
- ステップ 9** ページの上部で、[Restart] をクリックします。
- ステップ 10** サービスを再起動するかどうかの確認を求められた場合、[Yes] をクリックします。

電話システム連動の削除

電話システムが Cisco Unity Connection で使用されなくなった場合は、その電話システムを削除できます。電話システムを削除するには、次のエンティティを事前に削除するか、別の電話システムに割り当て直す必要があります。

- 削除する電話システムに関連付けられているすべてのユーザ (MWI デバイスおよび通知デバイスを含む)。
- 削除する電話システムに関連付けられているすべてのユーザ テンプレート。
- 削除する電話システムに関連付けられているすべてのシステム コールハンドラ。
- 削除する電話システムに関連付けられているすべてのコールハンドラ テンプレート。



(注) 電話システムに関連付けられているユーザ全員のリストを、[電話システムの関連付け (Phone System Associations)] ページで確認できます。手順については、P.25-5 の「電話システムに関連付けられているユーザのリストの表示」を参照してください。

電話システム連動を削除する

- ステップ 1** Cisco Unity Connection の管理で、[テレフォニー統合 (Telephony Integrations)] を展開し、[電話システム (Phone System)] をクリックします。
- ステップ 2** [電話システムの検索 (Search Phone Systems)] ページの [電話システムの検索結果 (Phone System Search Results)] で、削除する電話システムの名前の隣にあるチェックボックスをオンにします。
- ステップ 3** [選択項目の削除 (Delete Selected)] をクリックします。
- ステップ 4** 電話システムを削除するかどうかの確認を求められた場合、[OK] をクリックします。

電話システムの設定の変更

電話システムを Cisco Unity Connection と連動させた後に、電話システムの設定を変更することができます。電話システムの設定では、Connection と連動させる電話システムを指定し、特定の電話システム機能を調整します（連動のコンフィギュレーション設定は、電話システムに属しているポートグループに保持されます）。

電話システムの設定を変更する

-
- ステップ 1** Cisco Unity Connection の管理で、[テレフォニー統合 (Telephony Integrations)] を展開し、[電話システム (Phone System)] をクリックします。
 - ステップ 2** [電話システムの検索 (Search Phone Systems)] ページで、設定を変更する電話システムの表示名をクリックします。
 - ステップ 3** [電話システムの基本設定 (Phone System Basics)] ページで、必要な設定を変更して [保存 (Save)] をクリックします。
-

Cisco Unity Connection ルート証明書を表示

ルート証明書は、Cisco Unified Communications Manager (CM) (旧名称 Cisco Unified CallManager) 4.1 以降との連動でのみ使用され、Cisco Unity Connection ボイス メッセージ ポートの認証に必要になります。ルート証明書を表示すると、認証と暗号化に関する問題のトラブルシューティングに役立ちます。

Cisco Unity Connection ルート証明書を表示する

-
- ステップ 1** Cisco Unity Connection の管理で、[テレフォニー統合 (Telephony Integrations)] を展開し、[電話システム (Phone System)] をクリックします。
 - ステップ 2** [電話システムの検索 (Search Phone Systems)] ページで、Cisco Unified CM 電話システムの表示名をクリックします。
 - ステップ 3** [電話システムの基本設定 (Phone System Basics)] ページで、[編集 (Edit)] メニューの [ルート証明書 (Root Certificate)] をクリックします。

[ルート証明書の表示 (View Root Certificate)] ページに、ルート証明書に含まれている情報が表示されます。

Cisco Unity Connection ルート証明書をファイルとして保存

ルート証明書は、Cisco Unified Communications Manager 4.1 以降との連動でのみ使用され、Cisco Unity Connection ボイス メッセージ ポートの認証に必要になります。

Cisco Unity Connection ルート証明書をファイルとして保存する

- ステップ 1** Cisco Unity Connection の管理で、[テレフォニー統合 (Telephony Integrations)] を展開し、[電話システム (Phone System)] をクリックします。
- ステップ 2** [電話システムの検索 (Search Phone Systems)] ページで、Cisco Unified CM 電話システムの表示名をクリックします。
- ステップ 3** [電話システムの基本設定 (Phone System Basics)] ページで、[編集 (Edit)] メニューの [ルート証明書 (Root Certificate)] をクリックします。
- ステップ 4** [ルート証明書の表示 (View Root Certificate)] ページで、[証明書の保存 (Save the Certificate)] リンクを右クリックし、[対象をファイルに保存] をクリックします。
- ステップ 5** [名前を付けて保存] ダイアログボックスで、Connection ルート証明書をファイルとして保存する場所を参照します。
- ステップ 6** [ファイル名] フィールドで、拡張子が .htm ではなく .0 になっていることを確認し、[保存] をクリックします。



注意 証明書をファイルとして保存する場合は、拡張子を .htm ではなく .0 にする必要があります。これ以外の拡張子にした場合、Cisco Unified CM は証明書を認識しません。

- ステップ 7** [ダウンロードの完了] ダイアログボックスで、[閉じる] をクリックします。
- ステップ 8** これで、Connection ルート証明書ファイルをこの Cisco Unified CM 電話システム連動のすべての Cisco Unified CM サーバにコピーできる状態になりました。手順については、適切な Cisco Unified CM インテグレーションガイドを参照してください。このドキュメントは、http://www.cisco.com/en/US/products/ps6509/products_installation_and_configuration_guides_list.html から入手可能です。

電話システムに関連付けられているユーザのリストの表示

電話システムに関連付けられている、すべての Cisco Unity Connection ユーザのリストを表示することができます。

電話システムに関連付けられているユーザのリストを表示する

- ステップ 1** Cisco Unity Connection の管理で、[テレフォニー統合 (Telephony Integrations)] を展開し、[電話システム (Phone System)] をクリックします。
- ステップ 2** [電話システムの検索 (Search Phone Systems)] ページで、電話システムの表示名をクリックします。

ステップ 3 [電話システムの基本設定 (Phone System Basics)] ページで、[編集 (Edit)] メニューの [電話システムの関連付け (Phone System Associations)] をクリックします。

ステップ 4 [電話システムの関連付け (Phone System Associations)] ページに、電話システムに関連付けられているユーザのリストが表示されます。

電話システムの MWI の同期化

他の電話システムの MWI に影響を及ぼすことなく、電話システムのすべての Message Waiting Indicator (MWI; メッセージ受信インジケータ) を同期化することができます。

電話システムの MWI を同期化する

ステップ 1 Cisco Unity Connection の管理で、[テレフォニー統合 (Telephony Integrations)] を展開し、[電話システム (Phone System)] をクリックします。

ステップ 2 [電話システムの検索 (Search Phone Systems)] ページで、電話システムの表示名をクリックします。

ステップ 3 [電話システムの基本設定 (Phone System Basics)] ページで、[この電話システムのすべての MWI を同期化する (Synchronize All MWIs on This Phone System)] の前にある [実行 (Run)] をクリックします。

通話ループ検出設定の変更

ユーザにメッセージの到着を通知するなどの目的で Cisco Unity Connection が転送した通話が、Connection に転送し直されることがあります。通話ループ検出を有効にすると、Connection は通話ループの発生を検出し、その通話を拒否します。

通話ループ検出設定を変更すると、確認される通話をタイプごとに有効または無効にし、Connection が使用する [fourth-column DTMF トーン] のいずれかを設定し、ガード時間を設定することができます。

通話ループ検出設定は、Connection が転送する通話への影響が不明な場合は変更しないでください。

通話ループ検出設定を変更する

ステップ 1 Cisco Unity Connection の管理で、[テレフォニー統合 (Telephony Integrations)] を展開し、[電話システム (Phone System)] をクリックします。

ステップ 2 [電話システムの検索 (Search Phone Systems)] ページで、電話システムの表示名をクリックします。

ステップ 3 [電話システムの基本設定 (Phone System Basics)] ページの [コールループの検出 (詳細設定) (Call Loop Detection (Advanced))] で、適切な設定を入力し、[保存 (Save)] をクリックします。

AXL サーバの追加

AXL サーバは、Cisco Unified Communications Manager 電話システムでのみサポートされ、Cisco Unity Connection が Cisco Unified CM データベースにアクセスするために必要なものです。データベースにアクセスするのは、Cisco Unified CM ユーザをインポートする場合、および特定の電話システム設定を Connection パーソナル着信転送ルールのユーザ用に変更する場合です。

AXL サーバは、Cisco Unified Communications Manager Express 連動ではサポートされません。

AXL サーバを追加する

- ステップ 1** Cisco Unity Connection の管理で、[テレフォニー統合 (Telephony Integrations)] を展開し、[電話システム (Phone System)] をクリックします。
- ステップ 2** [電話システムの検索 (Search Phone Systems)] ページで、Cisco Unified CM 電話システムの表示名をクリックします。
- ステップ 3** [電話システムの基本設定 (Phone System Basics)] ページで、[編集 (Edit)] メニューの [Cisco Unified Communications Manager AXL サーバ (Cisco Unified Communications Manager AXL Servers)] をクリックします。
- ステップ 4** [AXL サーバの編集 (Edit AXL Servers)] ページの [AXL サーバ (AXL Servers)] で、[新規追加 (Add New)] をクリックします。
- ステップ 5** AXL サーバの設定を入力し、[保存 (Save)] をクリックします。
- ステップ 6** 追加する残りすべての AXL サーバについて、[ステップ 4](#) と [ステップ 5](#) を繰り返します。
- ステップ 7** [AXL サーバの設定 (AXL Server Settings)] で、フィールドが空白になっている場合は、必要な設定を入力して [保存 (Save)] をクリックします。



注意

このページの変更内容を保存した後、AXL サーバのポート番号の隣にある [テスト (Test)] をクリックすると、AXL サーバへの接続を確認できます。管理者の入力する AXL ポートと [Cisco Unified Communications Manager のバージョン (Cisco Unified Communications Manager Version)] 設定で、SSL が使用されるかどうかに関して一致していない場合、テストの結果が表示されるまでに 10 分以上かかります。

AXL サーバの削除

AXL サーバは、Cisco Unified Communications Manager 電話システムでのみサポートされ、Cisco Unity Connection が Cisco Unified CM データベースにアクセスするために必要なものです。データベースにアクセスするのは、Cisco Unified CM ユーザをインポートする場合、および特定の電話システム設定を Connection パーソナル着信転送ルールのユーザ用に変更する場合です。

AXL サーバを削除する

- ステップ 1** Cisco Unity Connection の管理で、[テレフォニー統合 (Telephony Integrations)] を展開し、[電話システム (Phone System)] をクリックします。

- ステップ 2** [電話システムの検索 (Search Phone Systems)] ページで、Cisco Unified CM 電話システムの表示名をクリックします。
- ステップ 3** [電話システムの基本設定 (Phone System Basics)] ページで、[編集 (Edit)] メニューの [Cisco Unified Communications Manager AXL サーバ (Cisco Unified Communications Manager AXL Servers)] をクリックします。
- ステップ 4** [AXL サーバの編集 (Edit AXL Servers)] ページの [AXL サーバ (AXL Servers)] で、削除する AXL サーバの隣にあるチェックボックスをオンにします。
- ステップ 5** [選択項目の削除 (Delete Selected)] をクリックします。
- ステップ 6** AXL サーバを削除するかどうかの確認を求められた場合、[OK] をクリックします。
-

AXL サーバの設定の変更

AXL サーバは、Cisco Unified Communications Manager 電話システムでのみサポートされ、Cisco Unity Connection が Cisco Unified CM データベースにアクセスするために必要なものです。データベースにアクセスするのは、Cisco Unified CM ユーザをインポートする場合、および特定の電話システム設定を Connection パーソナル着信転送ルールのユーザ用に変更する場合です。

AXL サーバの設定を変更する

- ステップ 1** Cisco Unity Connection の管理で、[テレフォニー統合 (Telephony Integrations)] を展開し、[電話システム (Phone System)] をクリックします。
- ステップ 2** [電話システムの検索 (Search Phone Systems)] ページで、Cisco Unified CM 電話システムの表示名をクリックします。
- ステップ 3** [電話システムの基本設定 (Phone System Basics)] ページで、[編集 (Edit)] メニューの [Cisco Unified Communications Manager AXL サーバ (Cisco Unified Communications Manager AXL Servers)] をクリックします。
- ステップ 4** [AXL サーバの編集 (Edit AXL Servers)] ページで、必要な設定を変更して [保存 (Save)] をクリックします。
-

ポート グループの管理

ポート グループは、連動のほとんどのコンフィギュレーション設定、および Cisco Unity Connection の一部またはすべてのボイス メッセージ ポートを保持しています。ほとんどの電話システム連動では 1 つのポート グループしか必要ありませんが、次の状況では複数のポート グループが必要になる場合があります。

- PIMG/TIMG 装置を使用した回線交換電話システムとの連動では、各 PIMG/TIMG 装置を、適切なボイス メッセージ ポートを持つそれぞれ別のポート グループに接続する必要があります。たとえば、PIMG 装置を 5 台使用するシステムの場合は、PIMG 装置ごとに 1 つずつ、5 つのポート グループが必要です。
- Cisco Unified Communications Manager との連動では、新しい設定のテスト用、またはトラブルシューティング用に、固有のボイス メッセージ ポートを持つ追加のポート グループを使用できます。

Connection のポート グループを利用すると、複数の連動コンフィギュレーション設定を用意して、それぞれ別のポート グループに適用できる柔軟性がもたらされます。

次の各項を参照してください。

- [ポート グループの追加 \(P.25-10\)](#)
- [ポート グループの削除 \(P.25-10\)](#)
- [ポート グループの設定の変更 \(P.25-10\)](#)
- [Cisco Unity Connection が通話に使用するオーディオ形式の変更 \(P.25-11\)](#)
- [MWI の設定の変更 \(P.25-12\)](#)
- [セカンダリ Cisco Unified Communications Manager サーバの追加 \(P.25-13\)](#)
- [Cisco Unified Communications Manager サーバの削除 \(P.25-14\)](#)
- [Cisco Unified Communications Manager サーバの設定の変更 \(P.25-15\)](#)
- [TFTP サーバの追加 \(P.25-16\)](#)
- [TFTP サーバの削除 \(P.25-17\)](#)
- [TFTP サーバの設定の変更 \(P.25-18\)](#)
- [SIP プロキシ サーバの追加 \(P.25-19\)](#)
- [SIP プロキシ サーバの削除 \(P.25-20\)](#)
- [SIP プロキシ サーバの設定の変更 \(P.25-21\)](#)
- [PIMG/TIMG 装置の追加 \(P.25-21\)](#)
- [PIMG/TIMG 装置の削除 \(P.25-22\)](#)
- [PIMG/TIMG の設定の変更 \(P.25-22\)](#)
- [Session Initiation Protocol \(SIP\) の設定の変更 \(P.25-23\)](#)
- [ポート グループの詳細設定の変更 \(P.25-24\)](#)
- [自動ゲイン制御 \(AGC\) の設定の変更 \(P.25-25\)](#)

ポートグループの追加

複数のポートグループを追加することで、それぞれに固有の連動コンフィギュレーション設定と専用のボイスメッセージポートを定義できます。

PIMG/TIMG 装置を使用した回線交換電話システムとの連動では、各 PIMG/TIMG 装置にポートグループが 1 つずつ必要です。たとえば、PIMG 装置を 5 台使用するシステムの場合は、PIMG 装置ごとに 1 つずつ、5 つのポートグループが必要です。

ポートグループを追加する

-
- ステップ 1** Cisco Unity Connection の管理で、[テレフォニー統合 (Telephony Integrations)] を展開し、[ポートグループ (Port Group)] をクリックします。
 - ステップ 2** [ポートグループの検索 (Search Port Groups)] ページの [ポートグループの検索結果 (Port Group Search Results)] で、[新規追加 (Add New)] をクリックします。
 - ステップ 3** [ポートグループの新規作成 (New Port Group)] ページで、必要な設定を入力して [保存 (Save)] をクリックします。
-

ポートグループの削除

ポートグループを削除すると、そのポートグループに属しているボイスメッセージポートもすべて削除されますが、ポートグループが属している電話システムは削除されません。

ポートグループを削除する

-
- ステップ 1** Cisco Unity Connection の管理で、[テレフォニー統合 (Telephony Integrations)] を展開し、[ポートグループ (Port Group)] をクリックします。
 - ステップ 2** [ポートグループの検索 (Search Port Groups)] ページの [ポートグループの検索結果 (Port Group Search Results)] で、削除するポートグループの名前の隣にあるチェックボックスをオンにします。
 - ステップ 3** [選択項目の削除 (Delete Selected)] をクリックします。
 - ステップ 4** ポートグループを削除するかどうかの確認を求められた場合、[OK] をクリックします。
-

ポートグループの設定の変更

ポートグループを追加した後に、ポートグループの設定を変更することができます。設定に対する変更が適用されるのは、そのポートグループに属しているボイスメッセージポートのみです。

ポートグループの設定を変更する

-
- ステップ 1** Cisco Unity Connection の管理で、[テレフォニー統合 (Telephony Integrations)] を展開し、[ポートグループ (Port Group)] をクリックします。

- ステップ 2** [ポートグループの検索 (Search Port Groups)] ページで、設定を変更するポートグループの表示名をクリックします。
- ステップ 3** [ポートグループの基本設定 (Port Group Basics)] ページで、必要な設定を変更して **[保存 (Save)]** をクリックします。
- ステップ 4** Connection Conversation Manager サービスの再起動を要求された場合は、次の各ステップを実行します。再起動を要求されない場合は、これでこの手順は完了です。
- ステップ 5** [ナビゲーション (Navigation)] ドロップダウンリストで、**[Cisco Unity Connection Serviceability]** をクリックし、**[移動 (Go)]** をクリックします。
- ステップ 6** [Cisco Unity Connection Serviceability] ページの **[Tools]** メニューで、**[Control Center - Feature Services]** をクリックします。
- ステップ 7** [Control Center - Feature Services] ページの **[Server]** ドロップダウンリストで、Cisco Unity Connection サーバの名前をクリックし、**[Go]** をクリックします。
- ステップ 8** [Cisco Unity Connection Services] で、**[Connection Conversation Manager]** をクリックします。
- ステップ 9** ページの上部で、**[Restart]** をクリックします。
- ステップ 10** サービスを再起動するかどうかの確認を求められた場合、**[Yes]** をクリックします。
-

Cisco Unity Connection が通話に使用するオーディオ形式の変更

Cisco Unity Connection は、電話システムとのメディアストリームで優先的に使用する、通話のオーディオ形式 (コーデック) をアダプタイズします。オーディオ形式を設定するときは、次の点を考慮する必要があります。

- Connection では、電話システムが使用しているものと同じオーディオ形式をメディアストリームに使用する必要があります。その理由は次のとおりです。
 - メディアストリームを、あるオーディオ形式から別の形式に変換する必要があるのを避けるため。
 - Connection サーバおよび電話システムのパフォーマンスに及ぼす影響を最小限に抑えるため。
 - 通話の音質を維持するため。
- 電話システムが使用しているものとは別のオーディオ形式を Connection がアダプタイズすると、電話システムはメディアストリームを変換します。

Connection が通話に使用するオーディオ形式を変更する

- ステップ 1** Cisco Unity Connection の管理で、**[テレフォニー統合 (Telephony Integrations)]** を展開し、**[ポートグループ (Port Group)]** をクリックします。
- ステップ 2** [ポートグループの検索 (Search Port Groups)] ページで、メディアストリームのオーディオ形式を変更する電話システム連動に属しているポートグループをクリックします。
- ステップ 3** [ポートグループの基本設定 (Port Group Basics)] ページで、**[編集 (Edit)]** メニューの **[コーデックのアダプタイズ (Codec Advertising)]** をクリックします。

ステップ 4 [コーデックのアドバタイズの編集 (Edit Codec Advertising)] ページで、上向き矢印および下向き矢印をクリックし、コーデックの順序を変更するか、[アドバタイズされているコーデック (Advertised Codecs)] ボックスと [アドバタイズされていないコーデック (Unadvertised Codecs)] ボックスの間でコーデックを移動します。

[アドバタイズされているコーデック (Advertised Codecs)] ボックスにコーデックが 1 つしか存在しない場合、Cisco Unity Connection はそのオーディオ形式でメディア ストリームを送信します。電話システムがこのオーディオ形式を使用していない場合、電話システムはメディア ストリームを変換します。

[アドバタイズされているコーデック (Advertised Codecs)] ボックスに複数のコーデックが存在する場合、Connection はリストの最初のコーデックを優先使用することをアドバタイズしますが、電話システムが選択した、リスト内のオーディオ形式でメディア ストリームを送信します。

ステップ 5 [保存 (Save)] をクリックします。

ステップ 6 (PIMG/TIMG、および SIP 連動のみ) アドバタイズされているコーデックで使用するパケットのサイズを変更する場合は、[アドバタイズされているコーデックの設定 (Advertised Codec Settings)] で、各コーデックに対して必要なパケット設定をクリックし、[保存 (Save)] をクリックします。

ステップ 7 [ポートグループ (Port Group)] メニューの [ポートグループの検索 (Search Port Groups)] をクリックします。

ステップ 8 メディア ストリームのオーディオ形式を変更する電話システム連動に属している残りすべてのポートグループについて、[ステップ 2](#) ~ [ステップ 7](#) を繰り返します。

MWI の設定の変更

メッセージ受信インジケータ (MWI) について、Cisco Unity Connection がユーザの MWI を設定するかどうか、および MWI 要求の再試行をどのように処理するかを制御します。

MWI の設定を変更する

ステップ 1 Cisco Unity Connection の管理で、[テレフォニー統合 (Telephony Integrations)] を展開し、[ポートグループ (Port Group)] をクリックします。

ステップ 2 [ポートグループの検索 (Search Port Groups)] ページで、MWI の設定を変更するポートグループの表示名をクリックします。

ステップ 3 [ポートグループの基本設定 (Port Group Basics)] ページの [メッセージ受信インジケータの設定 (Message Waiting Indicator Settings)] で、必要な設定を変更して [保存 (Save)] をクリックします。

ステップ 4 Connection Conversation Manager サービスの再起動を要求された場合は、次の各ステップを実行します。再起動を要求されない場合は、これでこの手順は完了です。

ステップ 5 [ナビゲーション (Navigation)] ドロップダウンリストで、[Cisco Unity Connection Serviceability] をクリックし、[移動 (Go)] をクリックします。

- ステップ 6** [Cisco Unity Connection Serviceability] ページの [Tools] メニューで、[Control Center - Feature Services] をクリックします。
- ステップ 7** [Control Center - Feature Services] ページの [Server] ドロップダウン リストで、Cisco Unity Connection サーバの名前をクリックし、[Go] をクリックします。
- ステップ 8** [Cisco Unity Connection Services] で、[Connection Conversation Manager] をクリックします。
- ステップ 9** ページの上部で、[Restart] をクリックします。
- ステップ 10** サービスを再起動するかどうかの確認を求められた場合、[Yes] をクリックします。

セカンダリ Cisco Unified Communications Manager サーバの追加

Cisco Unified Communications Manager 連動の場合、[電話システム統合ウィザード (Phone System Integration Wizard)] で作成されるのは、パブリッシャ Cisco Unified CM サーバとの連動のみです。クラスタ内のセカンダリ Cisco Unified CM サーバは、連動を作成した後に追加する必要があります。

セカンダリ Cisco Unified Communications Manager サーバを追加する

- ステップ 1** Cisco Unity Connection の管理で、[テレフォニー統合 (Telephony Integrations)] を展開し、[ポートグループ (Port Group)] をクリックします。
- ステップ 2** [ポートグループの検索 (Search Port Groups)] ページで、セカンダリ Cisco Unified CM サーバを追加するポートグループの表示名をクリックします。
- ステップ 3** [ポートグループの基本設定 (Port Group Basics)] ページで、[編集 (Edit)] メニューの [サーバ (Servers)] をクリックします。
- ステップ 4** [サーバの編集 (Edit Servers)] ページの [Cisco Unified Communications Manager サーバ (Cisco Unified Communications Manager Servers)] で、[追加 (Add)] をクリックします。
- ステップ 5** セカンダリ Cisco Unified CM サーバの設定を入力し、[保存 (Save)] をクリックします。
- ステップ 6** 追加する残りすべてのセカンダリ Cisco Unified CM サーバについて、[ステップ 4](#) と [ステップ 5](#) を繰り返します。
- ステップ 7** Connection Conversation Manager サービスの再起動を要求された場合は、次の各ステップを実行します。再起動を要求されない場合は、これでこの手順は完了です。
- ステップ 8** [ナビゲーション (Navigation)] ドロップダウン リストで、[Cisco Unity Connection Serviceability] をクリックし、[移動 (Go)] をクリックします。
- ステップ 9** [Cisco Unity Connection Serviceability] ページの [Tools] メニューで、[Control Center - Feature Services] をクリックします。
- ステップ 10** [Control Center - Feature Services] ページの [Server] ドロップダウン リストで、Cisco Unity Connection サーバの名前をクリックし、[Go] をクリックします。

ステップ 11 [Cisco Unity Connection Services] で、[**Connection Conversation Manager**] をクリックします。

ステップ 12 ページの上部で、[**Restart**] をクリックします。

ステップ 13 サービスを再起動するかどうかの確認を求められた場合、[**Yes**] をクリックします。



(注) [PING (Ping)] をクリックすると、Cisco Unified CM サーバの IP アドレス（またはホスト名）を確認できます。

Cisco Unified Communications Manager サーバの削除

Cisco Unified Communications Manager サーバが電話システム連動で使用されなくなった場合は、そのサーバを削除できます。

Cisco Unified CM サーバを別のポートグループに移動する場合は、その Cisco Unified CM サーバを 1 つのポートグループから削除して、2 番目のポートグループに追加する必要があります。

Cisco Unified Communications Manager サーバを削除する

- ステップ 1** Cisco Unity Connection の管理で、[**テレフォニー統合 (Telephony Integrations)**] を展開し、[**ポートグループ (Port Group)**] をクリックします。
- ステップ 2** [ポートグループの検索 (Search Port Groups)] ページで、Cisco Unified CM サーバを削除するポートグループの表示名をクリックします。
- ステップ 3** [ポートグループの基本設定 (Port Group Basics)] ページで、[**編集 (Edit)**] メニューの [**サーバ (Servers)**] をクリックします。
- ステップ 4** [サーバの編集 (Edit Servers)] ページの [Cisco Unified Communications Manager サーバ (Cisco Unified Communications Manager Servers)] で、削除する Cisco Unified CM サーバの隣にあるチェックボックスをオンにします。
- ステップ 5** [**選択項目の削除 (Delete Selected)**] をクリックします。
- ステップ 6** Cisco Unified CM サーバを削除するかどうかの確認を求められた場合、[**OK**] をクリックします。
- ステップ 7** Connection Conversation Manager サービスの再起動を要求された場合は、次の各ステップを実行します。再起動を要求されない場合は、これでこの手順は完了です。
- ステップ 8** [ナビゲーション (Navigation)] ドロップダウンリストで、[**Cisco Unity Connection Serviceability**] をクリックし、[**移動 (Go)**] をクリックします。
- ステップ 9** [Cisco Unity Connection Serviceability] ページの [Tools] メニューで、[**Control Center - Feature Services**] をクリックします。
- ステップ 10** [Control Center - Feature Services] ページの [Server] ドロップダウンリストで、Cisco Unity Connection サーバの名前をクリックし、[**Go**] をクリックします。

ステップ 11 [Cisco Unity Connection Services] で、[**Connection Conversation Manager**] をクリックします。

ステップ 12 ページの上部で、[**Restart**] をクリックします。

ステップ 13 サービスを再起動するかどうかの確認を求められた場合、[**Yes**] をクリックします。

Cisco Unified Communications Manager サーバの設定の変更

Cisco Unified CM サーバを追加した後に、サーバの設定を変更することができます。

Cisco Unified Communications Manager サーバの設定を変更する

-
- ステップ 1** Cisco Unity Connection の管理で、[**テレフォニー統合 (Telephony Integrations)**] を展開し、[**ポートグループ (Port Group)**] をクリックします。
- ステップ 2** [ポートグループの検索 (Search Port Groups)] ページで、Cisco Unified CM サーバの設定を変更するポートグループの表示名をクリックします。
- ステップ 3** [ポートグループの基本設定 (Port Group Basics)] ページで、[**編集 (Edit)**] メニューの [**サーバ (Servers)**] をクリックします。
- ステップ 4** [サーバの編集 (Edit Servers)] ページの [Cisco Unified Communications Manager サーバ (Cisco Unified Communications Manager Servers)] で、必要な設定を変更して [**保存 (Save)**] をクリックします。
- ステップ 5** Connection Conversation Manager サービスの再起動を要求された場合は、次の各ステップを実行します。再起動を要求されない場合は、これでこの手順は完了です。
- ステップ 6** [ナビゲーション (Navigation)] ドロップダウンリストで、[**Cisco Unity Connection Serviceability**] をクリックし、[**移動 (Go)**] をクリックします。
- ステップ 7** [Cisco Unity Connection Serviceability] ページの [Tools] メニューで、[**Control Center - Feature Services**] をクリックします。
- ステップ 8** [Control Center - Feature Services] ページの [Server] ドロップダウンリストで、Cisco Unity Connection サーバの名前をクリックし、[**Go**] をクリックします。
- ステップ 9** [Cisco Unity Connection Services] で、[**Connection Conversation Manager**] をクリックします。
- ステップ 10** ページの上部で、[**Restart**] をクリックします。
- ステップ 11** サービスを再起動するかどうかの確認を求められた場合、[**Yes**] をクリックします。



(注) [PING (Ping)] をクリックすると、Cisco Unified CM サーバの IP アドレス（またはホスト名）を確認できます。

TFTP サーバの追加

Cisco Unified Communications Manager 連動では、Cisco Unified CM クラスタで Cisco Unity Connection ボイス メッセージ ポートの認証と暗号化を使用する場合に限り、TFTP サーバが必要になります。

システムで Connection ボイス メッセージ ポートの認証と暗号化を使用する場合は、Cisco Unified CM 電話システム連動を作成した後に、TFTP サーバを追加する必要があります。

TFTP サーバを追加する

- ステップ 1** Cisco Unity Connection の管理で、[**テレフォニー統合 (Telephony Integrations)**] を展開し、[**ポートグループ (Port Group)**] をクリックします。
- ステップ 2** [ポートグループの検索 (Search Port Groups)] ページで、TFTP サーバを追加するポートグループの表示名をクリックします。
- ステップ 3** [ポートグループの基本設定 (Port Group Basics)] ページで、[**編集 (Edit)**] メニューの [**サーバ (Servers)**] をクリックします。
- ステップ 4** [サーバの編集 (Edit Servers)] ページの [**TFTP サーバ (TFTP Servers)**] で、[**追加 (Add)**] をクリックします。
- ステップ 5** TFTP サーバの設定を入力し、[**保存 (Save)**] をクリックします。
- ステップ 6** 追加する残りすべての TFTP サーバについて、[ステップ 4](#) と [ステップ 5](#) を繰り返します。
- ステップ 7** Connection Conversation Manager サービスの再起動を要求された場合は、次の各ステップを実行します。再起動を要求されない場合は、これでこの手順は完了です。
- ステップ 8** [ナビゲーション (Navigation)] ドロップダウンリストで、[**Cisco Unity Connection Serviceability**] をクリックし、[**移動 (Go)**] をクリックします。
- ステップ 9** [Cisco Unity Connection Serviceability] ページの [Tools] メニューで、[**Control Center - Feature Services**] をクリックします。
- ステップ 10** [Control Center - Feature Services] ページの [Server] ドロップダウンリストで、Cisco Unity Connection サーバの名前をクリックし、[**Go**] をクリックします。
- ステップ 11** [Cisco Unity Connection Services] で、[**Connection Conversation Manager**] をクリックします。
- ステップ 12** ページの上部で、[**Restart**] をクリックします。
- ステップ 13** サービスを再起動するかどうかの確認を求められた場合、[**Yes**] をクリックします。



(注) [PING (Ping)] をクリックすると、TFTP サーバの IP アドレス (またはホスト名) を確認できます。

TFTP サーバの削除

TFTP サーバがポートグループで使用されなくなった場合は、そのサーバを削除できます。

Cisco Unified Communications Manager 連動では、Cisco Unified CM クラスタで Cisco Unity Connection ボイスメッセージポートの認証と暗号化を使用する場合に限り、TFTP サーバが必要になります。

TFTP サーバを削除する

-
- ステップ 1** Cisco Unity Connection の管理で、[**テレフォニー統合 (Telephony Integrations)**] を展開し、[**ポートグループ (Port Group)**] をクリックします。
 - ステップ 2** [ポートグループの検索 (Search Port Groups)] ページで、TFTP サーバを削除するポートグループの表示名をクリックします。
 - ステップ 3** [ポートグループの基本設定 (Port Group Basics)] ページで、[**編集 (Edit)**] メニューの [**サーバ (Servers)**] をクリックします。
 - ステップ 4** [サーバの編集 (Edit Servers)] ページの [TFTP サーバ (TFTP Servers)] で、削除する TFTP サーバの隣にあるチェックボックスをオンにします。
 - ステップ 5** [**選択項目の削除 (Delete Selected)**] をクリックします。
 - ステップ 6** TFTP サーバを削除するかどうかの確認を求められた場合、[**OK**] をクリックします。
 - ステップ 7** Connection Conversation Manager サービスの再起動を要求された場合は、次の各ステップを実行します。再起動を要求されない場合は、これでこの手順は完了です。
 - ステップ 8** [ナビゲーション (Navigation)] ドロップダウンリストで、[**Cisco Unity Connection Serviceability**] をクリックし、[**移動 (Go)**] をクリックします。
 - ステップ 9** [Cisco Unity Connection Serviceability] ページの [Tools] メニューで、[**Control Center - Feature Services**] をクリックします。
 - ステップ 10** [Control Center - Feature Services] ページの [Server] ドロップダウンリストで、Cisco Unity Connection サーバの名前をクリックし、[**Go**] をクリックします。
 - ステップ 11** [Cisco Unity Connection Services] で、[**Connection Conversation Manager**] をクリックします。
 - ステップ 12** ページの上部で、[**Restart**] をクリックします。
 - ステップ 13** サービスを再起動するかどうかの確認を求められた場合、[**Yes**] をクリックします。
-

TFTP サーバの設定の変更

TFTP サーバを追加した後に、サーバの設定を変更することができます。

Cisco Unified Communications Manager 連動では、Cisco Unified CM クラスタで Cisco Unity Connection ボイスメッセージポートの認証と暗号化を使用する場合に限り、TFTP サーバが必要になります。

TFTP サーバの設定を変更する

- ステップ 1** Cisco Unity Connection の管理で、[**テレフォニー統合 (Telephony Integrations)**] を展開し、[**ポートグループ (Port Group)**] をクリックします。
- ステップ 2** [ポートグループの検索 (Search Port Groups)] ページで、TFTP サーバの設定を変更するポートグループの表示名をクリックします。
- ステップ 3** [ポートグループの基本設定 (Port Group Basics)] ページで、[**編集 (Edit)**] メニューの [**サーバ (Servers)**] をクリックします。
- ステップ 4** [サーバの編集 (Edit Servers)] ページの [**TFTP サーバ (TFTP Servers)**] で、必要な設定を変更して [**保存 (Save)**] をクリックします。
- ステップ 5** Connection Conversation Manager サービスの再起動を要求された場合は、次の各ステップを実行します。再起動を要求されない場合は、これでこの手順は完了です。
- ステップ 6** [ナビゲーション (Navigation)] ドロップダウンリストで、[**Cisco Unity Connection Serviceability**] をクリックし、[**移動 (Go)**] をクリックします。
- ステップ 7** [Cisco Unity Connection Serviceability] ページの [**Tools**] メニューで、[**Control Center - Feature Services**] をクリックします。
- ステップ 8** [Control Center - Feature Services] ページの [**Server**] ドロップダウンリストで、Cisco Unity Connection サーバの名前をクリックし、[**Go**] をクリックします。
- ステップ 9** [Cisco Unity Connection Services] で、[**Connection Conversation Manager**] をクリックします。
- ステップ 10** ページの上部で、[**Restart**] をクリックします。
- ステップ 11** サービスを再起動するかどうかの確認を求められた場合、[**Yes**] をクリックします。



(注) [PING (Ping)] をクリックすると、TFTP サーバの IP アドレス (またはホスト名) を確認できます。

SIP プロキシ サーバの追加

SIP トランクを使用した Cisco Unified Communications Manager との電話システム連動、または Cisco SIP Proxy Server との電話システム連動では、電話システムを作成した後に別の SIP プロキシ サーバを追加できます。

SIP プロキシ サーバを追加する

- ステップ 1** Cisco Unity Connection の管理で、[**テレフォニー統合 (Telephony Integrations)**] を展開し、[**ポートグループ (Port Group)**] をクリックします。
- ステップ 2** [ポートグループの検索 (Search Port Groups)] ページで、SIP プロキシ サーバを追加するポートグループの表示名をクリックします。
- ステップ 3** [ポートグループの基本設定 (Port Group Basics)] ページで、[**編集 (Edit)**] メニューの [**サーバ (Servers)**] をクリックします。
- ステップ 4** [サーバの編集 (Edit Servers)] ページで、[**追加 (Add)**] をクリックします。
- ステップ 5** SIP プロキシ サーバの設定を入力し、[**保存 (Save)**] をクリックします。
- ステップ 6** 追加する残りすべての SIP プロキシ サーバについて、[ステップ 4](#) と [ステップ 5](#) を繰り返します。
- ステップ 7** Connection Conversation Manager サービスの再起動を要求された場合は、次の各ステップを実行します。再起動を要求されない場合は、これでこの手順は完了です。
- ステップ 8** [ナビゲーション (Navigation)] ドロップダウンリストで、[**Cisco Unity Connection Serviceability**] をクリックし、[**移動 (Go)**] をクリックします。
- ステップ 9** [Cisco Unity Connection Serviceability] ページの [Tools] メニューで、[**Control Center - Feature Services**] をクリックします。
- ステップ 10** [Control Center - Feature Services] ページの [Server] ドロップダウンリストで、Cisco Unity Connection サーバの名前をクリックし、[**Go**] をクリックします。
- ステップ 11** [Cisco Unity Connection Services] で、[**Connection Conversation Manager**] をクリックします。
- ステップ 12** ページの上部で、[**Restart**] をクリックします。
- ステップ 13** サービスを再起動するかどうかの確認を求められた場合、[**Yes**] をクリックします。



(注) [PING (Ping)] をクリックすると、SIP プロキシ サーバの IP アドレス (またはホスト名) を確認できます。

SIP プロキシ サーバの削除

SIP トランクを使用した Cisco Unified Communications Manager との電話システム連動、または Cisco SIP Proxy Server との電話システム連動では、ポートグループで SIP プロキシサーバが使用されなくなった場合、その SIP プロキシサーバを削除できます。

SIP プロキシサーバを削除する

-
- ステップ 1** Cisco Unity Connection の管理で、[**テレフォニー統合 (Telephony Integrations)**] を展開し、[**ポートグループ (Port Group)**] をクリックします。
 - ステップ 2** [ポートグループの検索 (Search Port Groups)] ページで、SIP プロキシサーバを削除するポートグループの表示名をクリックします。
 - ステップ 3** [ポートグループの基本設定 (Port Group Basics)] ページで、[**編集 (Edit)**] メニューの [**サーバ (Servers)**] をクリックします。
 - ステップ 4** [サーバの編集 (Edit Servers)] ページの [**SIP Proxy Server (SIP Proxy Servers)**] で、削除する SIP プロキシサーバの隣にあるチェックボックスをオンにします。
 - ステップ 5** [**選択項目の削除 (Delete Selected)**] をクリックします。
 - ステップ 6** SIP プロキシサーバを削除するかどうかの確認を求められた場合、[**OK**] をクリックします。
 - ステップ 7** Connection Conversation Manager サービスの再起動を要求された場合は、次の各ステップを実行します。再起動を要求されない場合は、これでこの手順は完了です。
 - ステップ 8** [ナビゲーション (Navigation)] ドロップダウンリストで、[**Cisco Unity Connection Serviceability**] をクリックし、[**移動 (Go)**] をクリックします。
 - ステップ 9** [Cisco Unity Connection Serviceability] ページの [Tools] メニューで、[**Control Center - Feature Services**] をクリックします。
 - ステップ 10** [Control Center - Feature Services] ページの [Server] ドロップダウンリストで、Cisco Unity Connection サーバの名前をクリックし、[**Go**] をクリックします。
 - ステップ 11** [Cisco Unity Connection Services] で、[**Connection Conversation Manager**] をクリックします。
 - ステップ 12** ページの上部で、[**Restart**] をクリックします。
 - ステップ 13** サービスを再起動するかどうかの確認を求められた場合、[**Yes**] をクリックします。
-

SIP プロキシ サーバの設定の変更

SIP トランクを使用した Cisco Unified Communications Manager との電話システム連動、または Cisco SIP Proxy Server との電話システム連動では、SIP プロキシ サーバを追加した後にサーバの設定を変更できます。

SIP プロキシ サーバの設定を変更する

- ステップ 1** Cisco Unity Connection の管理で、[テレフォニー統合 (Telephony Integrations)] を展開し、[ポートグループ (Port Group)] をクリックします。
- ステップ 2** [ポートグループの検索 (Search Port Groups)] ページで、SIP プロキシ サーバの設定を変更するポートグループの表示名をクリックします。
- ステップ 3** [ポートグループの基本設定 (Port Group Basics)] ページで、[編集 (Edit)] メニューの [サーバ (Servers)] をクリックします。
- ステップ 4** [サーバの編集 (Edit Servers)] ページで、必要な設定を変更して [保存 (Save)] をクリックします。
- ステップ 5** Connection Conversation Manager サービスの再起動を要求された場合は、次の各ステップを実行します。再起動を要求されない場合は、これでこの手順は完了です。
- ステップ 6** [ナビゲーション (Navigation)] ドロップダウンリストで、[Cisco Unity Connection Serviceability] をクリックし、[移動 (Go)] をクリックします。
- ステップ 7** [Cisco Unity Connection Serviceability] ページの [Tools] メニューで、[Control Center - Feature Services] をクリックします。
- ステップ 8** [Control Center - Feature Services] ページの [Server] ドロップダウンリストで、Cisco Unity Connection サーバの名前をクリックし、[Go] をクリックします。
- ステップ 9** [Cisco Unity Connection Services] で、[Connection Conversation Manager] をクリックします。
- ステップ 10** ページの上部で、[Restart] をクリックします。
- ステップ 11** サービスを再起動するかどうかの確認を求められた場合、[Yes] をクリックします。



(注) [PING (Ping)] をクリックすると、SIP プロキシ サーバの IP アドレス (またはホスト名) を確認できます。

PIMG/TIMG 装置の追加

PIMG/TIMG を使用した回線交換電話システムとの連動では、各 PIMG/TIMG 装置をそれぞれ別のポートグループに配置します。たとえば、PIMG 装置を 5 台使用するシステムの場合は、PIMG 装置ごとに 1 つずつ、5 つのポートグループが必要です。電話システム連動を作成した後に、PIMG/TIMG 装置を追加できます。

PIMG/TIMG 装置を追加する

-
- ステップ 1 Cisco Unity Connection の管理で、[テレフォニー統合 (Telephony Integrations)] を展開し、[ポートグループ (Port Group)] をクリックします。
 - ステップ 2 [ポートグループの検索 (Search Port Groups)] ページの [ポートグループの検索結果 (Port Group Search Results)] で、[新規追加 (Add New)] をクリックします。
 - ステップ 3 [ポートグループの新規作成 (New Port Group)] ページの [電話システム (Phone System)] フィールドで、PIMG/TIMG 装置を追加する電話システムをクリックします。
 - ステップ 4 必要な設定を入力して [保存 (Save)] をクリックします。
-

PIMG/TIMG 装置の削除

PIMG/TIMG を使用した回線交換電話システムとの連動では、各 PIMG/TIMG 装置をそれぞれ別のポートグループに配置します。たとえば、PIMG 装置を 5 台使用するシステムの場合は、PIMG 装置ごとに 1 つずつ、5 つのポートグループが必要です。電話システム連動を作成した後に、PIMG/TIMG 装置を削除できます。

PIMG/TIMG 装置を削除する

-
- ステップ 1 Cisco Unity Connection の管理で、[テレフォニー統合 (Telephony Integrations)] を展開し、[ポートグループ (Port Group)] をクリックします。
 - ステップ 2 [ポートグループの検索 (Search Port Groups)] ページの [ポートグループの検索結果 (Port Group Search Results)] で、削除する PIMG/TIMG 装置のポートグループの隣にあるチェックボックスをオンにします。
 - ステップ 3 [選択項目の削除 (Delete Selected)] をクリックします。
-

PIMG/TIMG の設定の変更

PIMG/TIMG 装置を使用した回線交換電話システムとの連動では、電話システム連動を作成した後に PIMG/TIMG の設定を変更できます。

PIMG/TIMG 装置を使用した回線交換電話システムとの連動では、各 PIMG/TIMG 装置にポートグループが 1 つずつ必要です。たとえば、PIMG 装置を 5 台使用するシステムの場合は、PIMG 装置ごとに 1 つずつ、5 つのポートグループが必要です。

PIMG/TIMG の設定を変更する

-
- ステップ 1 Cisco Unity Connection の管理で、[テレフォニー統合 (Telephony Integrations)] を展開し、[ポートグループ (Port Group)] をクリックします。

- ステップ 2** [ポートグループの検索 (Search Port Groups)] ページで、PIMG/TIMG の設定を変更するポートグループの表示名をクリックします。
- ステップ 3** [ポートグループの基本設定 (Port Group Basics)] ページの [PIMG の設定 (PIMG Settings)] で、必要な設定を変更して **[保存 (Save)]** をクリックします。
- ステップ 4** Connection Conversation Manager サービスの再起動を要求された場合は、次の各ステップを実行します。再起動を要求されない場合は、これでこの手順は完了です。
- ステップ 5** [ナビゲーション (Navigation)] ドロップダウンリストで、**[Cisco Unity Connection Serviceability]** をクリックし、**[移動 (Go)]** をクリックします。
- ステップ 6** [Cisco Unity Connection Serviceability] ページの [Tools] メニューで、**[Control Center - Feature Services]** をクリックします。
- ステップ 7** [Control Center - Feature Services] ページの [Server] ドロップダウンリストで、Cisco Unity Connection サーバの名前をクリックし、**[Go]** をクリックします。
- ステップ 8** [Cisco Unity Connection Services] で、**[Connection Conversation Manager]** をクリックします。
- ステップ 9** ページの上部で、**[Restart]** をクリックします。
- ステップ 10** サービスを再起動するかどうかの確認を求められた場合、**[Yes]** をクリックします。
-

Session Initiation Protocol (SIP) の設定の変更

次の電話システムとの連動では、電話システム連動を作成した後に Session Initiation Protocol (SIP) の設定を変更できます。

- SIP トランクを使用した Cisco Unified Communications Manager
- PIMG/TIMG 装置を使用した回線交換電話システム
- Cisco SIP Proxy Server

Session Initiation Protocol (SIP) の設定を変更する

- ステップ 1** Cisco Unity Connection の管理で、**[テレフォニー統合 (Telephony Integrations)]** を展開し、**[ポートグループ (Port Group)]** をクリックします。
- ステップ 2** [ポートグループの検索 (Search Port Groups)] ページで、SIP の設定を変更するポートグループの表示名をクリックします。
- ステップ 3** [ポートグループの基本設定 (Port Group Basics)] ページの [セッション開始プロトコル (SIP) の設定 (Session Initiation Protocol (SIP) Settings)] で、必要な設定を変更して **[保存 (Save)]** をクリックします。
- ステップ 4** Connection Conversation Manager サービスの再起動を要求された場合は、次の各ステップを実行します。再起動を要求されない場合は、これでこの手順は完了です。

■ ポートグループの管理

- ステップ 5** [ナビゲーション (Navigation)] ドロップダウンリストで、[Cisco Unity Connection Serviceability] をクリックし、[移動 (Go)] をクリックします。
- ステップ 6** [Cisco Unity Connection Serviceability] ページの [Tools] メニューで、[Control Center - Feature Services] をクリックします。
- ステップ 7** [Control Center - Feature Services] ページの [Server] ドロップダウンリストで、Cisco Unity Connection サーバの名前をクリックし、[Go] をクリックします。
- ステップ 8** [Cisco Unity Connection Services] で、[Connection Conversation Manager] をクリックします。
- ステップ 9** ページの上部で、[Restart] をクリックします。
- ステップ 10** サービスを再起動するかどうかの確認を求められた場合、[Yes] をクリックします。

ポートグループの詳細設定の変更

ポートグループの詳細設定では、特定の遅延時間を制御します。ポートグループの詳細設定は、デフォルト値のままにしておくことをお勧めします。

ポートグループの詳細設定を変更する

- ステップ 1** Cisco Unity Connection の管理で、[テレフォニー統合 (Telephony Integrations)] を展開し、[ポートグループ (Port Group)] をクリックします。
- ステップ 2** [ポートグループの検索 (Search Port Groups)] ページで、詳細設定を変更するポートグループの表示名をクリックします。
- ステップ 3** [ポートグループの基本設定 (Port Group Basics)] ページで、[編集 (Edit)] メニューの [詳細設定 (Advanced Settings)] をクリックします。
- ステップ 4** [詳細設定の編集 (Edit Advanced Settings)] ページの [ポートグループの詳細設定 (Port Group Advanced Settings)] で、必要な設定を変更して [保存 (Save)] をクリックします。
- ステップ 5** Connection Conversation Manager サービスの再起動を要求された場合は、次の各ステップを実行します。再起動を要求されない場合は、これでこの手順は完了です。
- ステップ 6** [ナビゲーション (Navigation)] ドロップダウンリストで、[Cisco Unity Connection Serviceability] をクリックし、[移動 (Go)] をクリックします。
- ステップ 7** [Cisco Unity Connection Serviceability] ページの [Tools] メニューで、[Control Center - Feature Services] をクリックします。
- ステップ 8** [Control Center - Feature Services] ページの [Server] ドロップダウンリストで、Cisco Unity Connection サーバの名前をクリックし、[Go] をクリックします。
- ステップ 9** [Cisco Unity Connection Services] で、[Connection Conversation Manager] をクリックします。

ステップ 10 ページの上部で、**[Restart]** をクリックします。

ステップ 11 サービスを再起動するかどうかの確認を求められた場合、**[Yes]** をクリックします。

自動ゲイン制御 (AGC) の設定の変更

自動ゲイン制御 (AGC) の設定では、メッセージ録音時の値の自動調整を制御します。AGC の設定は、デフォルト値のままにしておくことをお勧めします。

AGC の設定を変更する

ステップ 1 Cisco Unity Connection の管理で、**[テレフォニー統合 (Telephony Integrations)]** を展開し、**[ポートグループ (Port Group)]** をクリックします。

ステップ 2 **[ポートグループの検索 (Search Port Groups)]** ページで、詳細設定を変更するポートグループの表示名をクリックします。

ステップ 3 **[ポートグループの基本設定 (Port Group Basics)]** ページで、**[編集 (Edit)]** メニューの **[詳細設定 (Advanced Settings)]** をクリックします。

ステップ 4 **[詳細設定の編集 (Edit Advanced Settings)]** ページの **[自動ゲイン コントロール (AGC) の設定 (Automatic Gain Control (AGC) Settings)]** で、必要な設定を変更して **[保存 (Save)]** をクリックします。

ステップ 5 Connection Conversation Manager サービスの再起動を要求された場合は、次の各ステップを実行します。再起動を要求されない場合は、これでこの手順は完了です。

ステップ 6 **[ナビゲーション (Navigation)]** ドロップダウン リストで、**[Cisco Unity Connection Serviceability]** をクリックし、**[移動 (Go)]** をクリックします。

ステップ 7 **[Cisco Unity Connection Serviceability]** ページの **[Tools]** メニューで、**[Control Center - Feature Services]** をクリックします。

ステップ 8 **[Control Center - Feature Services]** ページの **[Server]** ドロップダウン リストで、Cisco Unity Connection サーバの名前をクリックし、**[Go]** をクリックします。

ステップ 9 **[Cisco Unity Connection Services]** で、**[Connection Conversation Manager]** をクリックします。

ステップ 10 ページの上部で、**[Restart]** をクリックします。

ステップ 11 サービスを再起動するかどうかの確認を求められた場合、**[Yes]** をクリックします。

ポートの管理

ボイス メッセージ ポートを利用すると、Cisco Unity Connection で通話を（メッセージ録音などのために）着信したり、Connection で通話を（通知メッセージの送信や MWI の設定などのために）発信したりすることができます。

各ボイス メッセージ ポートは、1 つのポート グループにのみ所属できます。ポート グループが複数ある場合、各グループはそれぞれ固有のボイス メッセージ ポートを保持します。すべてのポート グループに属しているボイス メッセージ ポートの合計数は、Connection ライセンス ファイルで有効とされているボイス メッセージ ポートの最大数を超えることはできません。

次の各項を参照してください。

- ポートの追加 (P.25-26)
- ポートの削除 (P.25-27)
- ポートの設定の変更 (P.25-28)
- ポートのデバイス証明書の表示 (P.25-30)

ポートの追加

ボイス メッセージ ポートは、Cisco Unity Connection と電話システムの間に通話のための接続を提供します。ボイス メッセージ ポートは、電話システムを作成した後に追加できます。ボイス メッセージ ポートを追加したことによって、すべてのポート グループのボイス メッセージ ポートの合計数が、Connection ライセンス ファイルで有効とされているボイス メッセージ ポートの最大数を超えることがないようにする必要があります。

新しいポートを追加する

-
- ステップ 1** Cisco Unity Connection の管理で、[テレフォニー統合 (Telephony Integrations)] を展開し、[ポート (Port)] をクリックします。
- ステップ 2** [ポートの検索 (Search Ports)] ページの [ポートの検索結果 (Port Search Results)] で、[新規追加 (Add New)] をクリックします。
- ステップ 3** [ポートの新規作成 (New Port)] ページで、必要な設定を入力して [保存 (Save)] をクリックします。



注意

通話への応答用に設定したポートと発信用に設定したポートの数が適切であることを確認します。ポートの数が適切でない場合、連動が正常に機能しない可能性があります。適切な Cisco Unity Connection インテグレーション ガイドの「Cisco Unity Connection でのボイス メッセージ ポートの使用方法の計画」の項を参照してください。このドキュメントは、http://www.cisco.com/en/US/products/sw/voicew/ps2237/products_installation_and_configuration_guides_list.html から入手可能です。

- ステップ 4** Connection Conversation Manager サービスの再起動を要求された場合は、次のサブステップを実行します。再起動を要求されない場合は、[ステップ 5](#)に進みます。
- a. [ナビゲーション (Navigation)] ドロップダウンリストで、[Cisco Unity Connection Serviceability] をクリックし、[移動 (Go)] をクリックします。
 - b. [Cisco Unity Connection Serviceability] ページの [Tools] メニューで、[Control Center - Feature Services] をクリックします。

- c. [Control Center - Feature Services] ページの [Server] ドロップダウン リストで、Cisco Unity Connection サーバの名前をクリックし、[Go] をクリックします。
- d. [Cisco Unity Connection Services] で、[Connection Conversation Manager] をクリックします。
- e. ページの上部で、[Restart] をクリックします。
- f. サービスを再起動するかどうかの確認を求められた場合、[Yes] をクリックします。
- g. [Navigation] ドロップダウン リストで、[Cisco Unity Connection Administration] をクリックし、[Go] をクリックします。
- h. Cisco Unity Connection の管理で、[テレフォニー統合 (Telephony Integrations)] を展開し、[電話システム (Phone System)] をクリックします。

ステップ 5 Cisco Unity Connection の管理の [関連リンク (Related Links)] ドロップダウン リストで、[テレフォニーの設定の確認 (Check Telephony Configuration)] をクリックし、[移動 (GO)] をクリックして電話システム連動の設定を確認します。

ステップ 6 テストが正常に終了しなかった場合は、トラブルシューティングの手順を示したメッセージが [タスクの実行結果 (Task Execution Results)] リストに 1 つ以上表示されます。問題を解決した後に、もう一度設定を確認してください。

ポートの削除

ボイス メッセージ ポートは、Cisco Unity Connection と電話システムの間に通話のための接続を提供します。

ポートを削除する

- ステップ 1** Cisco Unity Connection の管理で、[テレフォニー統合 (Telephony Integrations)] を展開し、[ポート (Port)] をクリックします。
- ステップ 2** [ポートの検索 (Search Ports)] ページの [ポートの検索結果 (Port Search Results)] で、削除するボイス メッセージ ポートの隣にあるチェックボックスをオンにします。
- ステップ 3** [選択項目の削除 (Delete Selected)] をクリックします。
- ステップ 4** 必要に応じて、ポート グループに含まれている残りのボイス メッセージ ポートの設定を変更します。通話への応答用のポートと発信用のポートを、それぞれ適切な数に設定します。
- ステップ 5** Connection Conversation Manager サービスの再起動を要求された場合は、次の各ステップを実行します。再起動を要求されない場合は、これでこの手順は完了です。
- ステップ 6** [ナビゲーション (Navigation)] ドロップダウン リストで、[Cisco Unity Connection Serviceability] をクリックし、[移動 (Go)] をクリックします。
- ステップ 7** [Cisco Unity Connection Serviceability] ページの [Tools] メニューで、[Control Center - Feature Services] をクリックします。
- ステップ 8** [Control Center - Feature Services] ページの [Server] ドロップダウン リストで、Cisco Unity Connection サーバの名前をクリックし、[Go] をクリックします。

ステップ 9 [Cisco Unity Connection Services] で、[**Connection Conversation Manager**] をクリックします。

ステップ 10 ページの上部で、[**Restart**] をクリックします。

ステップ 11 サービスを再起動するかどうかの確認を求められた場合、[**Yes**] をクリックします。

ポートの設定の変更

ボイス メッセージ ポートは、Cisco Unity Connection と電話システムの間に通話のための接続を提供します。ボイス メッセージ ポートの設定は、電話システム連動を作成した後に変更できます。

ポートの設定を変更する

ステップ 1 Cisco Unity Connection の管理で、[**テレフォニー統合 (Telephony Integrations)**] を展開し、[**ポート (Port)**] をクリックします。

ステップ 2 [ポートの検索 (Search Ports)] ページで、設定を変更するボイス メッセージ ポートの表示名をクリックします。

ステップ 3 [ポートの基本設定 (Port Basics)] ページで、必要な設定を入力して[**保存 (Save)**]をクリックします。

電話システム連動の種類に応じて、表 25-1 の一部またはすべてのフィールドが表示されます。

表 25-1 [ポートの基本設定 (Port Basics)] ページの設定

フィールド	説明
[有効にする (Enabled)]	このチェックボックスをオンにすると、ポートが有効になります。通常の操作ではポートを有効にします。 このチェックボックスをオフにすると、ポートが無効になります。ポートが無効になると、そのポートに対する通話は、呼び出し音を受けますが、応答されることはありません。一般的には、インストール担当者がテスト中に限りポートを無効にします。
[内線番号 (Extension)]	電話システムで割り当てられているように、ポートに対する内線番号を入力します。
[コールに回答する (Answer Calls)]	通話に回答するようにポートを指定するには、このチェックボックスをオンにします。これらの通話は、外部発信者またはユーザからの着信です。
[メッセージ通知を実行する (Perform Message Notification)]	ポートをユーザに対するメッセージ通知用に指定するには、このチェックボックスをオンにします。[メッセージ通知を実行する (Perform Message Notification)] には、最も使用率の低いポートを割り当てます。
[MWI 要求を送信する (Send MWI Requests)] (シリアル連動では使用されません)	ポートを MWI のオン/オフ用に指定するには、このチェックボックスをオンにします。[MWI 要求を送信する (Send MWI Requests)] には、最も使用率の低いポートを割り当てます。
[TRAP 接続を許可する (Allow TRAP Connections)]	このチェックボックスをオンにすると、ユーザは Cisco Unity Connection の Web アプリケーションで電話から録音または再生用のポートを使用することができます。[TRAP 接続を許可する (Allow TRAP Connections)] には、最も使用率の低いポートを割り当てます。

表 25-1 [ポートの基本設定 (Port Basics)] ページの設定 (続き)

フィールド	説明
[発信ハント順 (Outgoing Hunt Order)]	Cisco Unity Connection が発信時に使用するポート ([メッセージ通知を実行する (Perform Message Notification)]、[MWI 要求を送信する (Send MWI Requests)]、および [TRAP 接続を許可する (Allow TRAP Connections)] の各チェックボックスをオンにした場合など) の優先順位を入力します。値の最も大きいポートが最初に使用されます。ただし、複数のポートが同じ [発信ハント順 (Outgoing Hunt Order)] 値になっている場合、Cisco Unity Connection は最も長時間アイドル状態になっているポートを使用します。
[セキュリティ モード (Security Mode)]	該当するセキュリティ モードをクリックします。 <ul style="list-style-type: none"> • [非セキュア (Non-secure)] : コールシグナリング メッセージがクリア (暗号化されていない) テキストとして送信され、認証された TLS ポートではなく非認証ポートを使用して Cisco Unified Communications Manager に接続されるため、コールシグナリング メッセージの完全性とプライバシーは保証されません。また、メディア ストリームも暗号化されません。 • [認証 (Authenticated)] : コールシグナリング メッセージは認証された TLS ポートを使用して Cisco Unified CM に接続されるため、完全性が保証されます。ただし、クリア (暗号化されていない) テキストで送信されるため、コールシグナリング メッセージのプライバシーは保証されません。また、メディア ストリームも暗号化されません。 • [暗号化 (Encrypted)] : コールシグナリング メッセージは認証された TLS ポートを使用して Cisco Unified CM に接続され、暗号化されるため、このポートでの完全性とプライバシーが保証されます。また、メディア ストリームも暗号化されます。

- ステップ 4** 設定を変更するボイス メッセージ ポートがこれ以上ない場合は、[ステップ 6](#) に進みます。まだある場合は、**[次へ (Next)]** をクリックします。
- ステップ 5** 設定を変更する残りすべてのボイス メッセージ ポートについて、[ステップ 3](#) と [ステップ 4](#) を繰り返します。
- ステップ 6** [ポート (Port)] メニューの **[ポートの検索 (Search Ports)]** をクリックします。
- ステップ 7** [ポートの検索 (Search Ports)] ページで、通話への応答用に設定したボイス メッセージ ポートと発信用に設定したボイス メッセージ ポートの数が適切であることを確認します。必要に応じて、通話への応答用に設定したボイス メッセージ ポートと発信用に設定したボイス メッセージ ポートの数を調整します。
- ステップ 8** Connection Conversation Manager サービスの再起動を要求された場合は、次の各ステップを実行します。再起動を要求されない場合は、これでこの手順は完了です。
- ステップ 9** [ナビゲーション (Navigation)] ドロップダウン リストで、**[Cisco Unity Connection Serviceability]** をクリックし、**[移動 (Go)]** をクリックします。
- ステップ 10** [Cisco Unity Connection Serviceability] ページの [Tools] メニューで、**[Control Center - Feature Services]** をクリックします。
- ステップ 11** [Control Center - Feature Services] ページの [Server] ドロップダウン リストで、Cisco Unity Connection サーバの名前をクリックし、**[Go]** をクリックします。
- ステップ 12** [Cisco Unity Connection Services] で、**[Connection Conversation Manager]** をクリックします。

ステップ 13 ページの上部で、**[Restart]** をクリックします。

ステップ 14 サービスを再起動するかどうかの確認を求められた場合、**[Yes]** をクリックします。

ポートのデバイス証明書の表示

ボイス メッセージ ポートのデバイス証明書は、Cisco Unified Communications Manager (CM) (旧名称 Cisco Unified CallManager) 4.1 以降との連動でのみ使用され、Cisco Unity Connection ボイス メッセージ ポートの認証に必要になります。ポートのデバイス証明書を表示すると、認証と暗号化に関する問題のトラブルシューティングに役立ちます。

ポートのデバイス証明書を表示する

ステップ 1 Cisco Unity Connection の管理で、**[テレフォニー統合 (Telephony Integrations)]** を展開し、**[ポート (Port)]** をクリックします。

ステップ 2 **[ポートの検索 (Search Ports)]** ページで、デバイス証明書を表示するボイス メッセージ ポートの表示名をクリックします。

ステップ 3 **[ポートの基本設定 (Port Basics)]** ページで、**[証明書の表示 (View Certificate)]** をクリックします。

ステップ 4 **[ポート証明書の表示 (View Port Certificate)]** ウィンドウに、ポートのデバイス証明書に含まれている情報が表示されます。

電話システム トランクの管理

複数の電話システムを Cisco Unity Connection と連動させる場合は、電話システム トランクを設定すると、ある電話システム上の通話を他の電話システム上の内線に転送できるようになります。電話システム トランクにアクセスするには、追加ダイヤル番号（たとえば 9）をダイヤルした後に内線番号をダイヤルします。

次の各項を参照してください。

- [電話システム トランクの追加 \(P.25-31\)](#)
- [電話システム トランクの削除 \(P.25-31\)](#)
- [電話システム トランクの設定の変更 \(P.25-32\)](#)

電話システム トランクの追加

別の電話システム連動が存在する場合は、電話システム トランクを追加すると、ある電話システム上の通話から、他方の電話システム上の内線にアクセスできるようになります。電話システム トランクは、電話システム連動を作成した後に追加できます。

電話システム トランクを追加する

-
- ステップ 1** Cisco Unity Connection の管理で、[**テレフォニー統合 (Telephony Integrations)**] を展開し、[**トランク (Trunk)**] をクリックします。
 - ステップ 2** [電話システムのトランクの検索 (Search Phone System Trunks)] ページの [電話システムのトランクの検索結果 (Phone System Trunk Search Results)] で、[**新規追加 (Add New)**] をクリックします。
 - ステップ 3** [電話システム トランクの新規作成 (New Phone System Trunk)] ページで、必要な設定を入力して [保存 (Save)] をクリックします。
-

電話システム トランクの削除

電話システム トランクが電話システム連動で使用されなくなった場合は、その電話システム トランクを削除できます。

電話システム トランクを削除する

-
- ステップ 1** Cisco Unity Connection の管理で、[**テレフォニー統合 (Telephony Integrations)**] を展開し、[**トランク (Trunk)**] をクリックします。
 - ステップ 2** [電話システムのトランクの検索 (Search Phone System Trunks)] ページの [電話システムのトランクの検索結果 (Phone System Trunk Search Results)] で、削除する電話システム トランクの隣にあるチェックボックスをオンにします。
 - ステップ 3** [選択項目の削除 (Delete Selected)] をクリックします。

ステップ 4 電話システム トランクを削除するかどうかの確認を求められた場合、[OK] をクリックします。

電話システム トランクの設定の変更

電話システム トランクの設定は変更できません。ただし、変更の必要な電話システム トランクを削除し、必要な設定を入力して電話システム トランクを新しく追加することができます。

電話システム トランクの設定を変更する

- ステップ 1** Cisco Unity Connection の管理で、[テレフォニー統合 (Telephony Integrations)] を展開し、[トランク (Trunk)] をクリックします。
- ステップ 2** [電話システムのトランクの検索 (Search Phone System Trunks)] ページで、削除する電話システム トランクの隣にあるチェックボックスをオンにします。
- ステップ 3** [選択項目の削除 (Delete Selected)] をクリックします。
- ステップ 4** 電話システム トランクを削除するかどうかの確認を求められた場合、[OK] をクリックします。
- ステップ 5** [新規追加 (Add New)] をクリックします。
- ステップ 6** [電話システム トランクの新規作成 (New Phone System Trunk)] ページで、必要な設定を入力して [保存 (Save)] をクリックします。
-